

一般質問通告書

No. 1

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

平成 27 年 5 月 28 日

議席番号 4 番

東村山市議会議長 様

質問者 おくたに 浩一

記

番号	質問の項目と要旨
1	<p>映画「あん」でシティプロモーションを！</p> <p>ほぼ東村山市が舞台になっている映画「あん」が 5 月 30 日から一般公開された。東村山市を大きくアピールするのに絶好の機会と考え以下、伺う。</p> <p>① 映画「あん」において東村山市が舞台となった経緯を伺う。</p> <p>② 映画撮影に関して、東村山市としてどのような協力・援助を行ったのか伺う。</p> <p>③ シティプロモーションにどのように役立てていくのか伺う。</p> <p>④ 広く市民に観賞していただくためにどのような方策を取ったか伺う。</p> <p>⑤ 東村山市内での上映の予定を伺う。</p> <p>⑥ 他の行事、例えば菖蒲まつり等と連携してのアピールはどのように考えているか伺う。</p> <p>⑦ ロケ現場を回る「まち歩き」は、どのように考えているか伺う。</p>
2	<p>20、30 歳代が住みたいまちに！</p> <p>平成 27 年 3 月経営政策部都市マーケティング課が作成した「転入転出アンケート調査」の報告書には、これからの東村山市の方向性が示唆されていると考える。「転入転出アンケート調査」の報告書を活かし、20、30 歳代が住みたいまちにするために以下、伺う。</p> <p>① 転入者の東村山市に転入する前に居住していた市区町村で最も多いのは、「所沢市」次いで「小平市」「東久留米市」と続く。また、転出後の住まいは、「小平市」が最も多く、次いで「所沢市」「西東京市」と続く。この傾向についてどのように分析しているか伺う。</p> <p>② 転入の決め手は、「家賃・住宅価格」。次いで「住宅条件」「通勤・通学時間」である。転出先の決め手は、「通勤・通学時間」。次いで「住宅の条件」「最寄駅へのアクセス」である。この傾向についてどのように分析しているか伺う。</p>

番号	質問の項目と要旨
	<p>③ 転入先を決めるにあたり東村山市の行政サービスや施策を調べたか否かは、「はい」が 17.5%、「いいえ」が 82.0%である。また、転出先を決めるにあたり転出先の行政サービスや施策を調べたか否かは、「はい」が 27.8%、「いいえ」が 71.6%である。この傾向についてどのように分析しているか伺う。</p> <p>④ 東村山市が「小平市」と比べて 20, 30 歳代にアピールできる点は何か伺う。</p> <p>⑤ 東村山市が「所沢市」と比べて 20, 30 歳代にアピールできる点は何か伺う。</p> <p>⑥ このアンケート結果を受けて、20, 30 歳代に住みたいまちにするためには何が必要と考えるか伺う。</p>
3	<p>住み続けたいまちにするために</p> <p>5月26日、景観を損ね、倒壊の恐れがある空き家の撤去を促す「空き家対策特別措置法」が完全施行された。20, 30 歳代の転入の決め手が「家賃・住宅価格」であることを考えると撤去だけでなく、再活用の視点で空き家対策を進めていく必要があると考え以下、伺う。</p> <p>① 「空き家対策特別措置法」の概略と完全施行されたことによる東村山市への影響を伺う。</p> <p>② 最近の「空き家」調査の結果について伺う。</p> <p>③ 「特定空き家」とは具体的にどのような空き家を指すのか。また、東村山市にはどれくらいあるのか伺う。</p> <p>④ 長野県佐久市のように「空き家バンク」を通し、300軒近い成約数を上げている自治体もあるが、近隣市の「空き家バンク」の活用の状況を伺う。</p> <p>⑤ 東村山市では、「空き家バンク」を検討しているか？課題は何か伺う。</p> <p>⑥ 20, 30 歳代の転入の決め手が「家賃・住宅価格」であることを考えると撤去だけでなく、再活用の視点で空き家対策を進めていく必要があると考えるがどのような施策があるか伺う。</p>